

看護師

採用予定 看護師2人
受験資格 昭和45年4月2日以降に生まれた方で、看護師の資格を有する方（3月までの取得見込み含む）

【試験日時・会場】

- ▶ 1次試験…1月30日(日) 10時～・市役所
- ▶ 2次試験…1次試験合格者に通知します

【試験方法】

- ▶ 1次試験…教養・専門・作文試験、事務適性検査
- ▶ 2次試験…人物試験、健康診査

【応募方法】

申込用紙は総務課で配布。郵便で請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、あて先と郵便番号を明記して120円切手をはった返信用封筒（A4判）を同封。

【申込期限】

1月12日(水)。郵送の場合は同日の消印有効です。

総務課 ☎52-2112
 〒028-8030
 久慈市川崎町1-1

第4回市民おらほーる劇場

琥珀の大地

12.26^日 会場
 おらほーる

■上演時間

①14時～ ②18時～

■前売り券12/6月発売

- ①一般 800円(千円)
 - ②高校生以下400円(500円)
- ※未就学児無料。()内は当日料金

■観覧券 ☎72-3711

■琥珀のブローチを壊してしまうことで、運命が変わってしまったカップルの物語が軸。舞台をフルに使ってのダンスあり、コントありの劇場は、家族で楽しめます！

猛練習中。こうご期待！



久慈北道路の説明会を開催 工事着工に一步前進



久慈北道路の今後

急カーブなどの減少によって安全な走行や、アクセスの向上が期待される久慈北道路。工事までの今後の流れは次のようになっています。

- 事業化決定…21年3月
- 計画説明…済
- 測量・地盤調査等…済
- 設計・用地幅員の設置について説明…今回

- 今後の流れ**
- 1 用地幅員を設置
 - 2 用地買収
 - 3 工事説明
 - 4 工事着工

八戸・久慈自動車道「久慈北道路」の設計・用地幅員設置説明会は10月28日に夏井町、29日に待浜町で開催。工事着工に一步前進しました。久慈北道路(7.4km)はこれまでに測量、地盤調査などを完了。詳細な設計と用地買収を進めるため、今回は道路用地を示す「幅員」を設置することに、三陸国道事務所が説明しました。29日の説明会には、約50人が参加。同事務所の武田滋生

調査課長が「一日も早い完成に向け努力します」とあいさつした後、担当者が設計計画と用地補償について説明しました。会場には設計計画が記された図面も張り出され、参加者は道路用地の位置を念入りに確認していました。



図面で道路用地を確認

除雪作業にご協力を

■下記担当（道路によって担当機関が異なります）

- 路上駐車やめてください**
路上駐車があると除雪車が前に進めなくなったり、雪をかぶった車に追突して事故を起こす恐れがあります。
- 道路への雪出しはやめて**
歩行者や車の通行の妨げになります。やめてください。
- 枝の伐採はお早めに**
雪の重みで枝が垂れ下がると除雪や通行の妨げになります。妨げの恐れのある立ち木などは伐採しましょう。
- 玄関前などはご家庭で**
除雪車が通った後、玄関前に雪が残ることがありますが、これは限られた時間で広い範囲を除雪する必要があります。玄関前はご家庭で、私道や歩道、消火栓の周りは地域などで除雪をお願いします。
- 凍結抑制剤などの散布を**
坂道などには凍結抑制剤入りの砂缶などを設置していますので、散布にご協力をお願いします。また必要に応じて、個別に凍結抑制剤を提供しますので、行政連絡区長を通じてお問い合わせください。
- 公共交通を利用ください**
雪道の渋滞を緩和するため、できるだけ公共交通機関を利用しましょう。
- 路面状況に合った運転を**
路面状況に合ったスピードと安全運転を心掛けましょう。

安全と生活のため
 安全な交通と生活のための除雪作業。限られた時間で広い範囲を除雪するには皆さんの協力が重要です。ご理解、ご協力をお願いします。

- 除雪の担当**
- 国道45号
三陸国道事務所久慈維持出張所 ☎53-2790
 - 国道281号・395号・県道
県北広域振興局土木部 ☎53-4990
 - 市道
土木課 ☎52-2124
産業建設課 ☎72-2129

市と新井田・横沼両町内会が協定を締結 要援護者支援 団結して支え合い



幸町で総合防災訓練

4月7日に市内で初めて同協定を締結した幸町町内会(幸町自主防災会)は11月7日、町内で第2回総合防災訓練を実施しました。訓練には久慈消防署と地元消防団第5分団も協力。初期消火や救護、炊き出しのほか災害時要援護者名簿を活用した避難誘導などの訓練を展開し、地域の防災力と支え合いの意識を一層高めました。

新井田町内会(岩花長吉会長)と横沼町内会(大向達夫会長)は11月2日、災害時要援護者名簿の共有について、市と個人情報保護に関する協定を締結しました。災害時要援護者名簿とは、避難する場合に助けが必要な一人暮らしの高齢者や障がいがある方などのうち、希望した方の情報をまとめたもの。町内会と情報を共有することにより、災害時の支援だけでなく、日ごろの見守り活動などの充実が図られます。協定書への調印を終え、山内隆文市長は「行政と皆さんが力を合わせれば、乗り越えられる課題もあると思います。名簿を活用いただき、地域での支え合いを進めてほしいです」と、あいさつしました。

岩花会長は「一致団結して取り組みたいです」と抱負を。大向会長も「日常からの支え合いを目指していきます」と力を込めました。今回で、同協定を締結した町内会は3団体になりました。支え合う地域の実現に向けて、今後も取り組みの広がりが期待されます。



調印を終え、山内市長と出席者で記念写真

総合防災マップ作成にワークショップ 安全な地域へ 知恵出し合う



岩手大学・専門家の訴え

【津波】 堺茂樹教授(左) 近い将来、宮城県沖地震が発生するのはほぼ確実。「すぐ避難」を心掛けてほしいです。
【洪水】 倉島栄一教授(中) 最近10年間で洪水発生件数はほぼ倍増。短時間でも集中的に降る雨には要注意です。
【土砂】 井良沢道也准教授(右) 毎年、約千件の土砂災害が発生。小石の落下、山鳴りなど前兆現象を知ることが必要です。

市総合防災ハザードマップの作成に向けた第1回ワークショップは10月30日、防災センターで開催。沿岸地区から約60人が参加しました。はじめに岩手大学工学部の堺茂樹教授、同農学部倉島栄一教授などが津波や洪水、土砂災害の特徴と被害の恐ろしさについて、スクリーンに映像を映しながら講演。続いて、地域の危険箇所を洗い出し、より安全な避難経路を設定するための住民ワークショップが開かれました。6班に分かれた参加者は、県が指定する危険区域と市指定避難所が記されたマップを囲んで意見交換。「この川の方が増水しやすい」「大勢が避難するには、この道の方が安心」など、地域をよく知る

ものならではの知恵と情報を出し合いました。ワークショップは11月までに全4回を終了。旧久慈市では平成17年度に津波防災マップを発行しましたが、今回のマップには、津波だけでなく洪水や土砂災害なども含めた防災情報を掲載し、来年度、全世帯に配布する予定です。



地域の知恵を出し合ったワークショップ